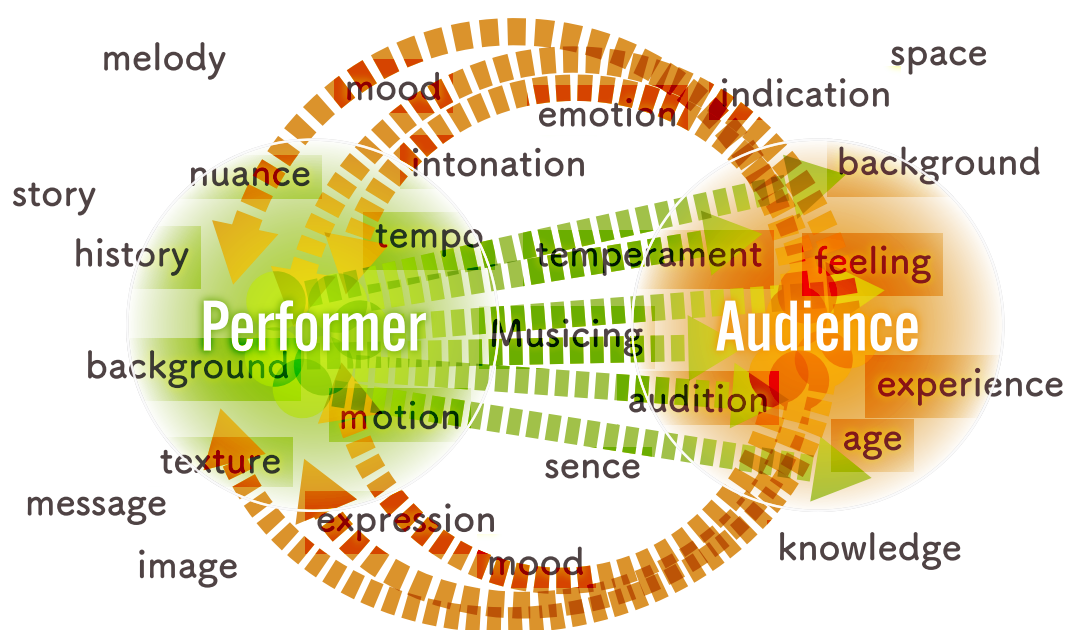


MOOD

Musicing Object Of Drawing



MOOD《F+LAB成果発表展》

2026/11/20(金)～11/29(日)12:00～19:00

サテライトギャラリーSA・KURA 11/24(火)、25(水)は休廊

本展覧会は、愛知県立芸術大学と名古屋工業大学の連携による「ARTFUL CAMPUS」プログラムF+LABの、共創研究「MOOD」の成果発表展となります。「MOOD」は、Musicing Object of Drawing（音楽を描くオブジェ）の略称です。音楽が演奏される空間に満ちる“ムード”を可視化する試みとして、3Dプリンターによる立体造形に取り組んでいます。今回の作品は、2026年1月9日に開催された愛知県立芸術大学ウインドオーケストラ第26回定期演奏会をモチーフとし、当日に会場でセンシングした多様なデータをもとに制作しました。

私たちは、生演奏が生み出す音や空気感、人々の反応が相互に影響し合いながら、空間を絶えず変化させていると考えています。観客の感情は演奏へと伝わり、その変化が新たなニュアンスとして音に加わり、再び空間に広がっていきます。目に見えず、触れることもできないけれど、確かに存在する“ムード”。それを立体として実体化したとき、どのような形が現れるのでしょうか。造形実験の成果を、ぜひ目で見て、手で触れながら感じていただければ幸いです。

《プロジェクトメンバー》

企画・プランニング | 森 真弓

愛知県立芸術大学教授。光・音・映像を用いたインスタレーション作品をはじめ、インターフェースデザイン、コミュニケーションデザイン、イベントプランニングなど領域を横断した多様な表現活動に取り組んでいる。また、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者として、カーリングの発展・普及にも貢献している。

センシング・情報取得設計 | 酒向 慎司

名古屋工業大学准教授。音楽と情報技術の融合に関する研究として音楽情報処理、演奏表現の統計的モデル化、自動伴奏生成、音声・手話認識など幅広い分野において活躍している。日本情報処理学会山下記念研究賞や電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーション賞を受賞し、国内外で幅広く活動している。

3D化プログラム・プロダクト設計 | 小池 達也

小池屋制作室／愛知県立芸術大学教育研究指導員／名古屋造形大学非常勤教員。メディアやデザインに関する知識を活かし、デジタルファブリケーションをはじめとする多様なデジタルツール活用法の指導に従事。個人活動では3Dコンテンツ制作ツール「Houdini」を軸とし、様々なツールを組み合わせた表現の活用方法を日々探っている。

《お問合せ》

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課〔0561-76-2873〕平日9:00～17:30 <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

《アクセス》

地下鉄東山線 栄駅より徒歩6分、地下鉄桜通線・名城線 久屋大通駅より徒歩7分



愛知県立芸術大学 サテライトギャラリー SA・KURA

〒461-0005
愛知県名古屋市東区東桜1-9-19
成田栄ビル地下1階

(地下へはエレベーターをご利用ください)

<https://aui-sakura.com/>

